

## 協会に事務局を置く団体

神奈川県消化器がん検診機関一次検診連絡協議会	
設立年月日	昭和57（1982）年2月
代 表	副会長：玉井拙夫 （公益財団法人神奈川県予防医学協会）
会 員 数	会員機関10＋相談機関2（2024年7月現在）
設立の主旨	
県内における老人保健法（昭和57年度～平成19年度）および健康増進法（平成20年度～）に基づく消化器がんの住民検診を行う一次検診実施機関の精度管理の向上、行政、学会、医師会をはじめとする関係機関との連携協調を図り、共通の諸問題の研究、技術の向上を目指して討議を行い、消化器がん検診の充実、発展を図る	
本年度の主な活動	
1. 協議会の開催 第91回協議会 令和5年8月23日 2. 幹事会の開催 第109回幹事会 令和5年7月19日 3. 研修会等 Web研修会（基礎講義、症例検討） 令和5年4月19日 第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 一般演題報告 令和5年9月23日 4. 技術部会 第1回 令和5年5月16日 第2回 令和5年9月12日 第3回 令和5年11月29日 第4回 令和6年1月16日	
事務局担当	新保文樹（業務部）

神奈川県健康管理機関協議会	
設立年月日	昭和56（1981）年
代 表	代表幹事：（公財）神奈川県予防医学協会
会 員 数	13機関（2024年3月31日現在）
設立の主旨	
県内において企業等の健康管理支援業務を行う企業外健康管理機関が、より質の高いサービスを提供するため、健康管理全般に関する支援として、精度の向上、適正な事業の運営等、共通の諸問題を協議検討すると共に労働衛生行政へも積極的に協力していくことを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆第1回協議会（令和5年9月22日） 1. 神奈川県労働局からの連絡事項 2. 講 演 テーマ：「職場における化学物質の自律的な管理」 講 師：独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 化学物質情報管理研究センター 化学物質情報管理部長 山本健也先生 3. 情報交換会－各機関の近況と問題点－ ①採血時におけるトラブル状況とその対応 ・発生状況 ・翼状針の使用の有無 ・対応方法 ②第4期特定健診・特定保健指導に向けた準備状況 ◆第2回協議会（令和6年3月26日） 1. 神奈川県労働局からの連絡事項 2. 講 演 テーマ：「協会けんぽにおける「令和5年度保健事業の取組状況／令和6年度神奈川支部事業計画」」 講 師：全国健康保険協会神奈川支部 保健グループ長 佐久間更生様 3. 情報交換会－各機関の近況と問題点－ ①健診スタッフ確保の課題、問題点について ②多様性に配慮した健康診断について	
事務局担当	雨宮 徹（業務部）

（公社）日本作業環境測定協会神奈川支部	
設立年月日	昭和56（1981）年7月
代 表	支部長：川口久喜
会 員 数	26機関（2024年3月現在）
設立の主旨	
作業環境測定士の資質向上と測定技術の精度向上、測定機関の業務改善などを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆会議 ①総会1回 ②理事会2回 ③技術専門委員会5回 ◆通常総会（令和5年6月27日） 令和4年度事業報告 令和4年度収支決算報告 令和5年度事業計画 令和5年度収支予算 ◆作業環境測定評価推進大会（令和5年9月8日） ①最近の労働衛生行政の動向 （神奈川県労働局労働衛生専門官 毛利崇行氏） ②化学物質リスクアセスメントにおけるばく露濃度の推定方法 （中央労働災害防止協会 山室堅治氏） ◆第1回技術研修会（令和5年6月27日） ①最近の労働衛生行政について （神奈川県労働局健康課長 畑野俊氏） ◆第2回技術研修会（令和5年11月8日） 事業場見学会 新東名高速道路高松トンネル工事現場 ◆第3回技術研修会（令和6年2月13日） ①最近の化学物質管理に関する法改正について （神奈川県労働局労働衛生専門官 毛利崇行氏） ②C・D測定に関連する個人サンプラーについて （柴田科学・リオン・ガステック）	
事務局担当	芦田敏文（環境科学部）

神奈川県学校・腎疾患管理研究会	
設立年月日	昭和50（1975）年
代 表	会長：新村文男先生 （東海大学医学部付属八王子病院 小児科臨床教授）
会 員 数	約90人（2023年4月現在）
設立の主旨	
各地区医師会・自治体・大学医学部・病院・学校・検診機関が相互に連携し腎疾患対策を行い児童・生徒の健康に寄与すべく事業を展開	
本年度の主な活動	
◆学校現場との連携事業 ◆神奈川県学校検尿判定委員会合同会議 ◆医師部会 ◆定例研究会 ◆機関誌	
現在活動休止中。 学校検尿の新検査法の検討会を開催 開 催 日 2023年5月13日（土）16：00～ 場 所 神奈川県予防医学協会7階会議室 開催方法 対面とWEBのハイブリット方式 参 加 数 県内大学病院小児科医師等5名	
事務局担当	佐藤光宣（業務部業務1課）

子宮がん車検診実施検討会	
設立年月日	昭和46（1971）年
代 表	世話人：上坊敏子先生 （相模野病院婦人科腫瘍センター顧問）
会 員 数	構成医療機関等 ○協力医療機関 北里大学・東海大学・横浜市立大学・聖マリアンナ医科大学・日本医科大学の産婦人科 ○神奈川県立がんセンターの婦人科腫瘍専門医 ○協会細胞診専門医
設立の主旨	子宮がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。昭和58年老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として検討会を継承し、運営をしている。
本年度の主な活動	◆年1回検討・報告会 2023年12月11日 7階役員室（WEB開催） ◆検討・報告内容 車検診の集積データを検証し、発見症例の再検討などを実施して、精度の維持向上に役立っている。
事務局担当	佐藤光宣（業務部業務1課）

ピンクリボンかながわ	
設立年月日	平成18（2006）年10月19日
代 表	代表：土井卓子（湘南記念病院 乳がんセンター長）
会 員 数	協力団体37団体（2024年7月現在）
設立の主旨	乳がんの早期発見・早期治療をめざして、乳がん検診の受診率向上と乳がんについての知識の普及・啓発を目的として設立
本年度の主な活動	◆県内での活動 本年度は、新型コロナウイルス感染症の扱いが5類に移行したことによりイベント開催が多くなり、年間を通じて対面によるブース活動を行った。 ピンクリボンライトアップは川崎エリアが加わりライトアップスポットも前年より15施設増え、県内54ヶ所にて10/1～10/31に実施した。事前告知となるポスター・リーフレットのデザインを今年も専門学校プロジェクトチームに依頼、若い感覚を一層取り入れた広報物となった。さらに若い世代に「ピンクリボン」の意味を知って貰おうと初めてSNSでのフォトコンテストを実施、159作品もの応募があった。 主催イベントとして「ピンクリボンかながわ in 鎌倉女子大学」を11月に開催、マンモグラフィ検診車の展示、協力団体のブース出展や大学ゼミの展示など若者世代も交え「健やかな未来に向けて今、私たちが出来る事」をテーマに、行政・検診機関・学生・支援団体・乳がん罹患者が発言、多岐にわたるディスカッションを行った。 ◆協働事業 引き続き、企業・団体との協働事業を展開するとともに専門学校生、大学とのコラボ企画に参加、SNSからの発信に取り組んだ。岩崎学園、湘南モノレールとの三者による「ピンクリボン活動の推進に関する協定」を締結後定期的に協議会を行い、さらなる発信の具体化に取り組んだ。
事務局担当	齋藤好子（健康創造室）

神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会	
設立年月日	昭和60（1985）年
代 表	会長：福田 譲（聖マリ大 B&Iセンター院長）
会 員 数	○乳がん検診（視触診・読影）協力医療機関 視・触診協力機関 13機関 読影協力機関 10機関 横浜市立大学附属病院・聖マリアンナ医科大学病院・藤沢湘南台病院・茅ヶ崎市立病院・平塚共済病院・小田原市立病院・山近記念総合病院・東海大学病院・伊勢原協同病院・平塚市民病院・海老名総合病院・相模台病院・湘南記念病院・東名厚木病院・神奈川県立足柄上病院・大和市立病院・プレスティアたまプラーザ・聖マリアンナ医科大学附属研究所B&Iセンター（2022年7月現在）
設立の主旨	乳がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として神奈川県乳がん集団検診協議会を継承し、運営をしている。MMG運営委員会：上記連絡会の下部組織として、マンモグラフィ読影精度管理を目的として設立。
本年度の主な活動	1.連絡会・MMG運営委員会 合同開催 3/15（リモート開催） 2.症例検討会 第1回：7/21 8機関9名（リモート開催） 第2回：11/10 9機関10名（リモート開催） 3.学会発表 第33回日本乳癌検診学会（11/24-25 福岡市） 聖マリアンナ医科大学附属研究所 プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック 印牧義英先生
事務局担当	山本寛典（業務部業務1課）

神奈川乳房画像研究会／神奈川乳房超音波画像研究会	
設立年月日	平成10（1998）年12月／平成18（2006）年3月
代 表	世話人代表 加藤善廣
会 員 数	23人（2024年7月現在）
設立の主旨	乳がんの早期発見・治療のため、画像診断や装置の精度向上に役立つ情報提供や普及活動
本年度の主な活動	◆世話人会 9回開催（Web会議） R5年5月9日、7月6日、8月10日、9月15日、11月7日、12月14日、R6年1月22日、2月27日、3月29日 ◆研究会 2回開催（Web開催） ・第68回・45回研究会 R5年7月13日（木） 「症例検討～MMG・US画像と病理像の対比～」 亀田総合病院 黒住昌史先生 ・第69回・46回研究会 R6年3月13日（水） 「マンモグラフィ・超音波検査に携わる技師の為の－乳腺病理の基礎知識－」 日本医科大学付属病院 永井祥子先生 ◆他活動内容 ・神奈川県医師会主催 MMG撮影技術講習会 R6年2月10日（土）・11日（日） 横浜市立大学病院 医学部 看護学科 ・超音波画像研究会主催 ハンズオンセミナー R6年3月24日（日） 聖マリアンナ医科大学 B&I先端医療センター
事務局担当	見本喜久子・関春花（放射線技術部）

禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議	
設立年月日	平成11（1999）年11月5日
代 表	会長：加濃正人
会 員 数	個人会員125人、法人会員9法人 (2024年6月現在)
設立の主旨	
県内の禁煙・受動喫煙防止の普及啓発活動の目的で設立	
本年度の主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆総会・講演会 5月（オンライン開催）</li> <li>◆常任理事会 2回（オンライン開催）</li> <li>◆理事会 2回（オンライン開催）</li> <li>◆会員による講演会、セミナー 62回 対象者6949人 (オンライン開催のため未把握数あり)</li> <li>◆かながわ卒煙塾、かながわ卒煙サポートセミナー等への協力 講師派遣 10回</li> <li>◆イベントへの参加 禁煙相談 1回</li> <li>◆関連会議への協力 神奈川県、横浜市の会議へ参加、資料提供</li> <li>◆第17回日本禁煙学会学術総会開催 (10月28日～11月26日 WEB主体のハイブリッド開催)</li> <li>◆故中山元会長の足跡記念誌 200部作製、関係者へ配布</li> </ul>	
事務局担当	栗原 博（専門委員）

スモークフリー推進かながわ基金	
設立年月日	平成22（2010）年
代 表	委員長：埋橋美穂 (神奈川県 健康医療局 保健医療部長)
会 員 数	委員6人（委員長含む）
設立の主旨	
受動喫煙防止を浸透させ、自らの意思で受動喫煙を避けることができる環境の整備を促進するため、県民、法人等からの寄付金を原資として設立	
本年度の主な活動	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「イベント・シンポジウム開催」事業 ・世界禁煙デー及び禁煙週間における普及啓発活動への協力 ・受動喫煙防止キャンペーンへの協力</li> <li>2 「広報普及啓発」事業 ホームページを活用した普及啓発</li> <li>3 「若年層等喫煙防止教育」事業</li> <li>4 「スモークフリー・サポーターズ・クラブ」事業</li> </ol>	
令和5年度をもって、スモークフリー推進かながわ基金は解散した	
〈理由〉	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 受動喫煙防止条例を取り巻く社会環境の変化</li> <li>2 事業規模の縮小</li> </ol>	
事務局担当	栗原 博（専門委員）

神奈川学校保健研究会	
設立年月日	昭和43（1968）年9月
代 表	会長：鈴木晴美
会 員 数	9人（2024年3月現在）
設立の主旨	
県内の養護教諭ら、学校保健関係者が自主的に研修する場として設立	
本年度の主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆交流会3回 (養護教諭の情報交換を目的に交流会を行った。) 5月27日、11月25日、2024年3月2日 延べ22人参加</li> <li>◆第52回夏期講習会 新型コロナウイルス感染拡大のため中止。</li> </ul>	
事務局担当	久保紀代美（健康創造室企画課）